

No. 2

クルマを整備するために建てた、 ガレージがある家を新築。

島岡邸 | 愛知県 | 設計 岩橋建築設計事務所

クルマ好きな施主と、クルマ好きな工務店がタッグを組んで
こだわりのガレージハウスを建てた島岡邸。

クルマ好きな社長に依頼することで、
ガレージにはいろいろなパーツが応用されていた。

photo / Keigo KIMURA (木村圭吾)
text / Jun ISHIHARA (石原 淳)



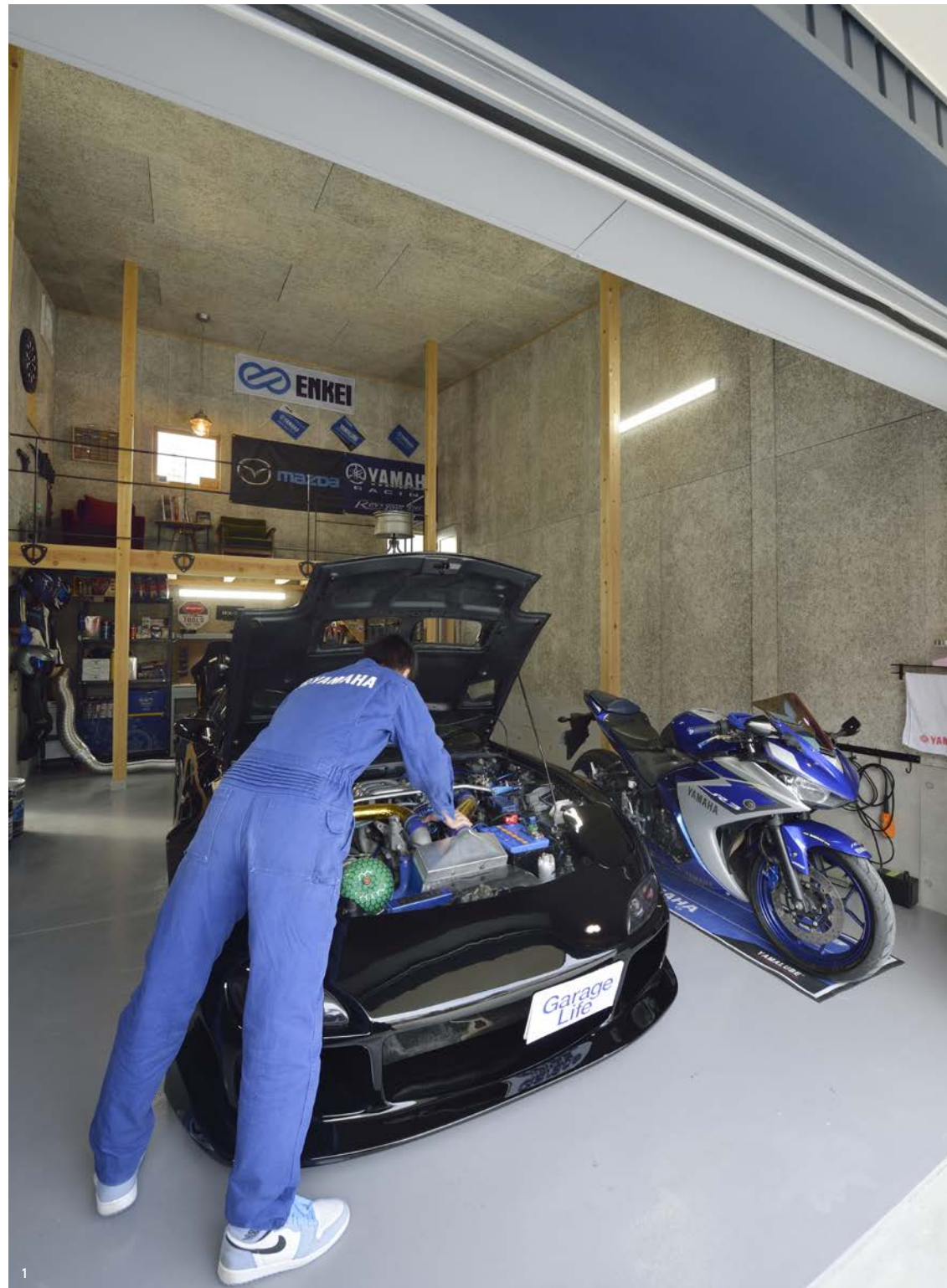
ガレージのシャッターは三和シャッター製軽量電動式シャッター
静々動々を導入。アルミ製で光電センサがついている。シャッ
ター上には庇がついて雨の日の対策としている。



玄関の前にはプライバシーが確保できるように植
栽を用意。夏になると芝生が青くなる庭があり、
ご主人が管理してガーデニングも楽しんでいる。



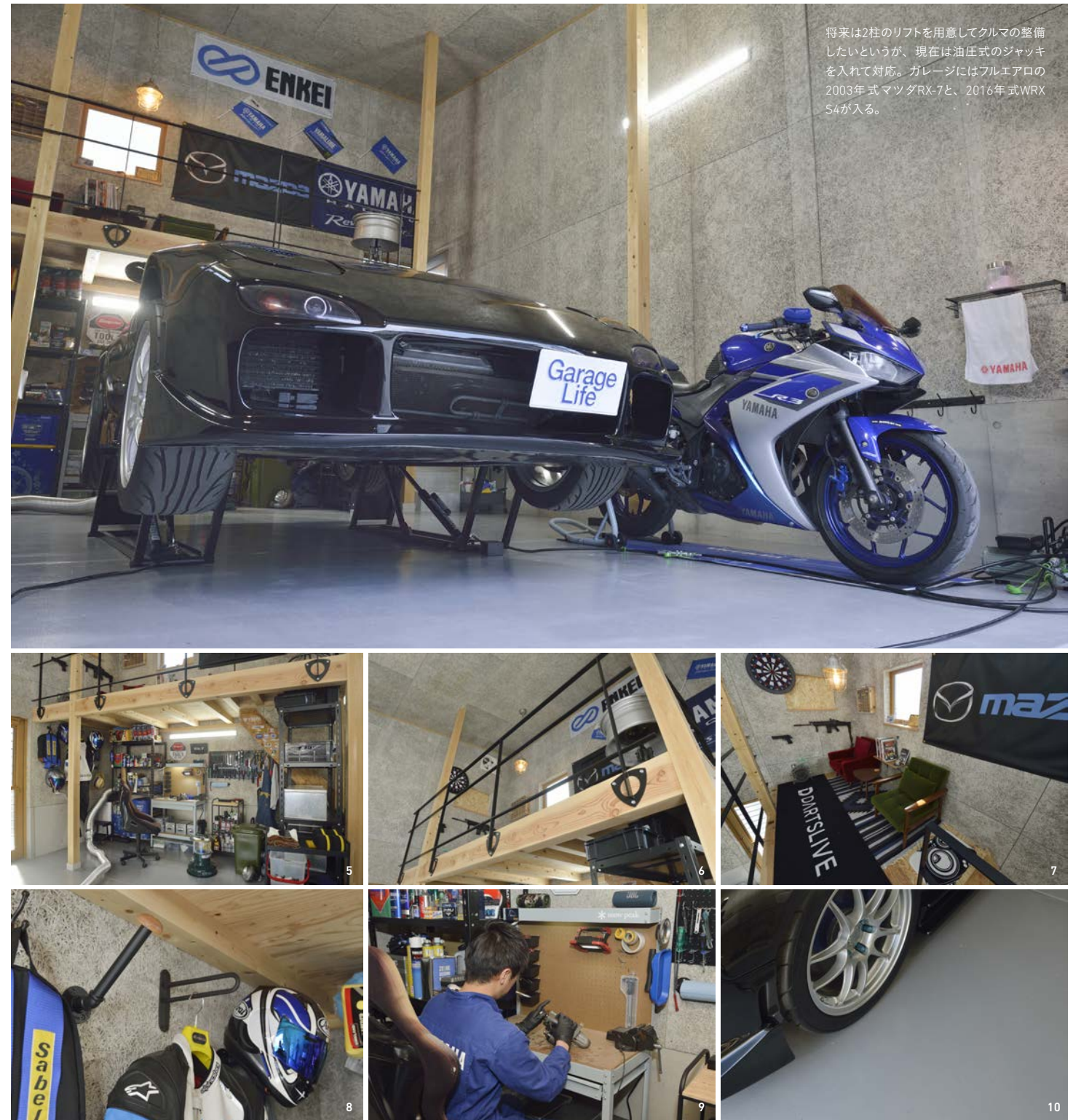
ブルーが好きな島岡さんはブルーのガル
バニウム鋼板を選んだ外装仕上げ。ガー
デンスペースを大きくして、庭の作業も楽
しめるようになっている。



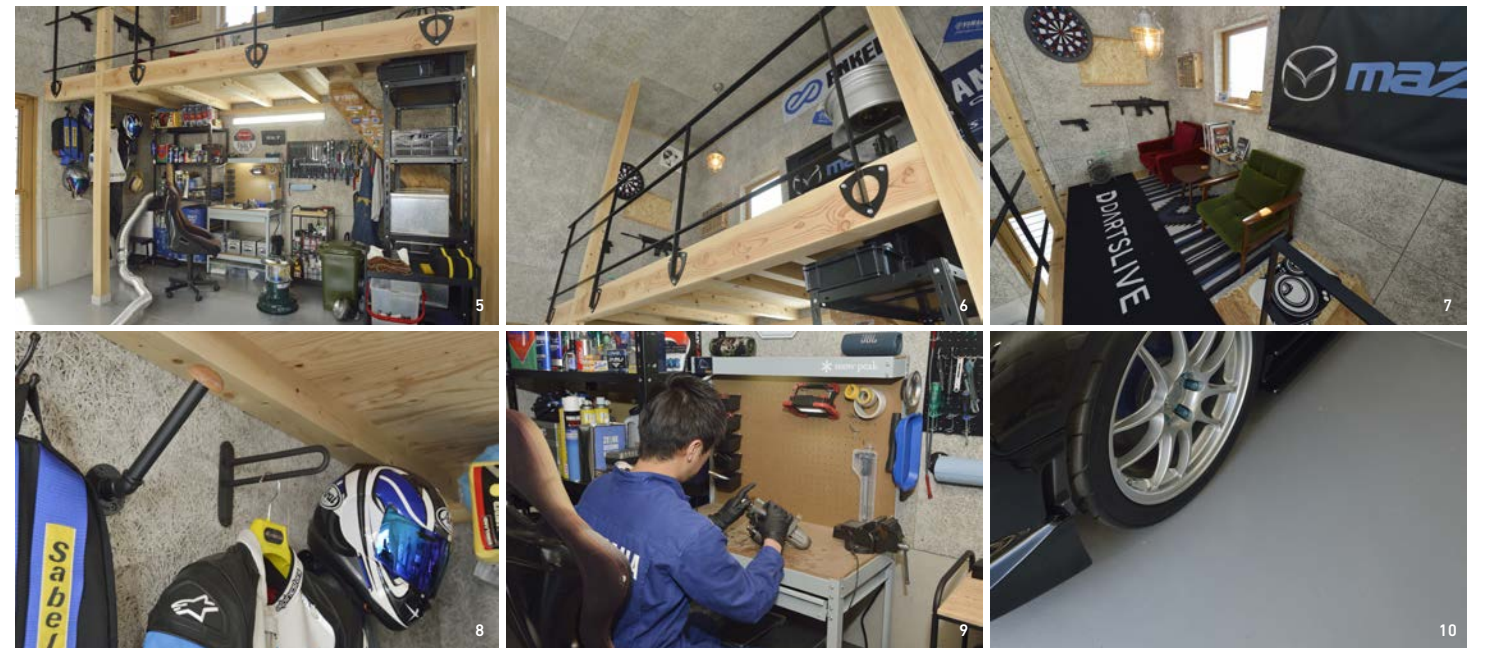
1_マツダが誇る13Bロータリーエンジンを搭載した3代目のRX7、限定車タイプRバサーストが格納されたガレージ。ナイトスポーツ製のエアロを継い、HKS製ダウンサス、マフラーなど専門店で購入されたマシンである。2_ガレージに設置した水道は、なんとFDのトランスミッションがベースとなっている。ミッションを洗浄してペイント、加工したもの。3_ガレージ内でエンジンをかけて整備するときにはマフラーにホースをつないで排気ガスが屋外に出るように工夫。穴をあけておいて、島岡さんが自作している。4_BBS製のホイールを加工して製作したテーブル。ブレーキキャリパーもセットされているところが、マニアックといえる。

電動の三和シャッター製の扉を開けると、そこには映画『ワイルドスピード』を彷彿とさせるフルエアロを纏ったFD、マツダRX-7が現われる。そう、今回のガレージのある家で紹介するのは、自分でクルマを整備するオーナー、島岡さんのガレージハウス。仕事の癒し、ストレスを解消するためにサーキット走行やツーリングを楽しむための愛車を格納するガレージハウスは、社長自ら箱スカを所有するクルマ好きの『岩橋建築』の岩橋社長と拘っ

て建てた空間だった。今までは集合住宅で暮らし、屋外駐車場でクルマを整備していたが、いつかはガレージハウスを夢みていたときに、雑誌GarageLifeに掲載されていたクルマ好きの社長の『岩橋建築』の記事を発見したことが大きなきっかけとなった。当初は地元の工務店にも相談にいったが、ビルトインガレージはできないと断られたので岩橋社長の事務所に連絡して相談したところ、家の話ではなくクルマの話ばかりとなり



将来は2柱のリフトを用意してクルマの整備したいというが、現在は油圧式のジャッキを入れて対応。ガレージにはフルエアロの2003年式マツダRX-7と、2016年式WRX S4が入る。



「ここであれば、楽しく、しかも念願のガレージハウスを依頼できると」話がスタートしたのは'21年4月のことだった。土地もない状態であったが、勤務地からわずか15分の場所に約100坪の未公開の工場跡地の行き止まりの土地の話が岩橋社長から提案されたことで、これはこのタイミングしかないという決断をしたという。約100坪ある敷地に、クルマを整備するガレージは必然としてリクエストしたことと子どもが生

まれたときに庭があると過ごしやすかったことや、医療関係に勤める夫婦にとっては家に入ったらずくに手を洗えるスペースが欲しかったことなどを要望。キッチンは奥様の希望で、使いやすくてフラットなものを依頼したという。その結果、玄関を入ると大きなサンタリースペースがあり手を洗うことができるスペースが用意された。またガレージはご主人の愛車が入る1台のスペースとし、奥様のクルマはカーポートで出し入れができるようにしたが、ガレージにアク

5_ガレージのロフト下に用意されたのは作業ができるスペース。椅子は初代FDのものを改造。ここでパーツの分解、洗浄が行われる。6_ガレージの空間を有効に利用するためロフトを設置。ロフトのアイアンは、エンジンのロータリーを意識した同寸のデザインを採用した。7_ロフトスペースには換気扇が用意され、空気を循環しているほかご主人の趣味、ミニカー、エアガン、ダーガがディスプレイされている。8_オートバイを乗るためのフルスーツ、ヘルメットを保管。壁面のヘルメットハンガーは、島岡さんの自作。9_ガレージではデスクが用意され、パーツの分解、洗浄、メンテナンスを島岡さんが行なう。大きなモディファイは専門ショップに依頼するという。10_ガレージの床面は、島岡さんが竣工後に自ら施工。そのQが発売しているプライマーいらずのグレーを施工している。

ロータリーエンジンを模したダイニング
テーブルを手に入れたダイニングス
ペース。ご主人はコーヒーを煎れるのが専
門。奥様が料理を担当する。



セスできるように扉を設けたことで雨に濡れる
ことなく自宅と行き来できるようになったのは
非常に便利という。ガレージには将来、2柱リ
フトを導入してクルマの整備ができるように屋
根を高く設計しているが、現在は油圧式のク
イックジャッキがあるので問題はない。また打
ち合わせのなかから、ミッションをベースとし
た水まわりや、ロータリーをモチーフにしたア
イアンなどのデザインが取り入れられるなどク
ルマ好き2人で拘ったアイテムが設置されてい
る。またあらかじめ、壁面には穴を用意され、
排気ガスを排出するためのホースを導入でき
るようにと依頼している。床面は独自のナノ密

着技術で、コンクリート床に密着する染めQ
テクノロジーが発売している塗料を島岡さんが
自ら施工している。
約21畳のリビングダイニングスペースには、
畳スペースが用意された。これは島岡夫妻の
リクエストによるもので3枚の畳のスペースの
床を掘り下げて埋め込むことでフラットとしリ
ビングを使いやすくしている。また人通りがほ
とんどないのでカーテンは設置せず、YKK製
のスリットシャッターを設置することでプライバ
シーを確保。リモコンの操作により網戸のよ
うな機能もあるなど最新の技術を提案するな
ど『岩橋建築』岩橋社長により今までの経験が

注ぎ込まれた。
ガレージハウスが引き渡しになって約1年半
が経過。クルマを時間に関係なく整備でき
るほか、庭の植物を季節によって楽しむなど今
までできなかったことができるようになったと
ご主人は語る。今では生後7か月になる暦美
ちゃんも家族に加わり、3人で楽しい毎日を過
ごしている。クルマの盗難を心配することもな
くなったのも大きいとご主人は語る。クルマ好
きの岩橋社長と建てた家は生活動線もよく考
えられていて過ごしやすそうだ。将来は娘と一
緒にドライブ行きたいと語るご主人。非常に
満足した家を手に入れたことが印象的だった。



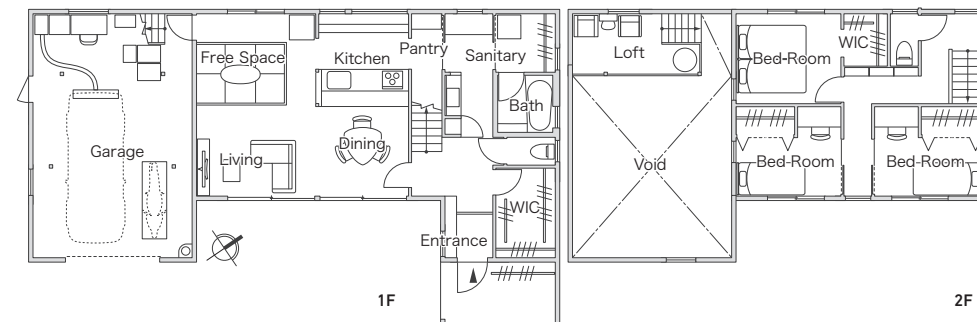
11_キッチンに建つと、部屋のなか
はもちろんのこと庭も見渡すことが可
能。カーテンを設けず、YKK製スリ
ットシャッターを導入。網戸のよう
な使い方もできる。12_最近、コー
ヒーに凝っていてコーヒー豆を買っ
てきてミルを使ってコーヒーを煎
れることも。クリナップ製のアイ
ランド型キッチン・ステディアは
収納も多くなるのでカフェのよ
うな空間に。



ガレージにもアクセスができるリ
ビングスペース。3畳のフラットにな
った畳のスペースも用意され過
ごしやすくなっている。



13_玄関から帰宅すると、ドアを開けず
に手を洗浄できるように用意されたサ
ニタリースペース。医療関係に勤務す
るご夫婦にとってはリクエストした1
つ。14_2階の主寝室、子ども部屋
の前に用意されたのは大きな本棚。
書籍、雑誌を多く所有している夫
妻にとっては家具ではなく、あらか
じめ棚を用意してもらっている。



Architecture Data

Owner's Check

●ここがお気に入り

ロータリーエンジンを模したアイアンの
棚と、ミッションを利用した手洗いはク
ルマ好きには伝わるアイテムで気に入
っています。

●ちょっと失敗

油圧ジャッキを使用するときにもう少
しレイアウトを考えておけばよかつた
かなと。

●これからの夢

自分のガレージで自分のクルマのエン
ジンをオーバーホールしてみたいです
ね。

●読者へのアドバイス

クルマもガレージも興奮と安らぎを得
ることができる空間です。楽しみにな
がら建ててほしいですね。

Comment from a Builder



岩橋建築
岩橋和雄さん

クルマが好きなおオーナーさんからの
依頼で、クルマの話も盛り上がりいろ
いろと提案をさせていただきました。
その結果、ガレージにはアイアン、水
道など気に入ってもらえるアイテムを
導入できました。またカーポートから
のアクセスも考えてドアの設置など
動線も確保できました。

設計・施工

岩橋建築

愛知県半田市板山町13丁目154番地
Phone/0569-27-7492
<https://www.iwahashi-home.co.jp>

Planning Data

施主：島岡さん
所在地：愛知県
敷地面積：約100坪
延床面積：約●●●㎡
外装仕上げ：ガルバニウム鋼板
内装仕上げ：クロス
愛車：2003年式マツダ・RX-7 FD3S
タイプRバサース
2016年式WRX S4